

ホーム
ページ



http://uchida-ta
motsu.jimdo.com

南知多民報

発行：日本共産党
南知多町委員会
連絡先：町議会議員 内田保
南知多町内海内塩田77-3
(TEL・FAX: 0569-62-1816)



コロナ対策 町民からの様々な要望が実現 第二波に備え、これからも声を上げていきましょう

5月28日の臨時議会と6月の定例議会で、赤ちゃん・お年寄り・障害者・介護労働者等、町民一人ひとりへの感染症予防を含めたコロナ対策が実現しました。これは、町内の各団体・議会・町民一人ひとりの声を石黒町長が受け止めたものです。

日本共産党の内田議員は、2月24日、3月25日、5月8日、19、25日に、町長へ緊急にコロナ対策の申入れ、懇談を実施してきました。町民の健康・営業・くらし等様々な要望を出し、町長は誠実に対応しました。特に「今年度中に生まれた赤ちゃん全員に10万円を」「水道基本料金の無料化」などの実現は、南知多町の独自施策として大いに評価されるものです。

また、国からの10万円の特別定額給付金を受け取った人は、6月25日現在、町当局の努力のおかげで、南知多町は98.9%になりました。議会で決定された主なコロナ対策の内容を報告します。



(南知多町役場本会議場)

令和2年度生まれの赤ちゃんに 平等に10万円給付



安倍自公政権の遅れた政策を国民の世論で変えさせ、ようやく実現した全国民への10万円支給「特別定額給付金」の支給が始まっています。しかし、この制度は、4月28日以降に生まれる赤ちゃんには支給されないというものでした。内田議員は「赤ちゃんを差別しないで給付を」と、令和2年度中に生まれる赤ちゃんに10万円を給付することを、町長や企画部長に約700万円の予算でできるとの具体的な額も示しながら要望し、実現しました。



保育園も小中学校も 給食費約7ヶ月無料

5月25日から学校が本格的に始まり、給食も開始されています。給食は子どもたちにとって貴重な栄養源となっており、食育等での教育の一環として重要な役割を担っています。給食無償化は、憲法の「義務教育は

無償」の理念で全国で少しずつ広がっています。今回は、コロナ対策で収入減になり疲弊した家庭の支援も含まれています。

無料化が武豊町では6月のみで、2ヶ月、3ヶ月の支援しかない市町もある中、南知多町の令和2年12月まで7ヶ月の無料の支援は思い切った施策です。保育園の給食に対しても無料の方向が示されたことは、お母さんたちに喜ばれています。

水道基本料金6ヶ月無料



水道基本料金の無料化施策は、新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けている事業活動や自宅で過ごす時間が増えている町民の生活を経済的に支えるものです。また、積極的な手洗い実施による感染予防の促進になり、固定経費の負担軽減は中小事業者にとっても、所得の少ない町民にとっても重要な施策として要望してきました。

知多半島の他市町でも減免の期間は様々ですが、水道基本料金無料を進めています。南知多町は、8月請求分から6ヶ月無料になります。

今後、南知多町として、愛知県営水道への料金引き下げを求めていくことも必要になっていきます。

コロナ自粛で、自宅で優雅にお茶を飲んでいる姿をネットに上げた安倍首相には、生きるか死ぬかぎりぎりまで追い詰められている人たちに寄り添う気持ちが全く見えませんでした。その後も次から次に国民と隔たりのある安倍政権の姿勢には呆れるばかり▼この間、私の所にも様々な声が届きました。「パートで働いていたが、休業になったので全く収入がなくなり、困っている」「解雇された」▼今回のコロナ対策では、事業主が休業補償の手続きをすれば国が100%労働者の賃金を補償するのです。しかし、その手続きをしない事業者が多いようです。休業補償は労働基準法で定められています▼手続きをしないのは法律違反です▼パート従業員を沢山使っている小さな事業者が多い南知多町は、パートの人たちで支えられています。法に則り手続きを進め、きちんと休業の補償をするそんな企業経営をしていただきたいものです▼今回は、町独自のコロナ対策について、何度も町長と懇談し、町民の皆さんの声を届けました。少し遅かったとは言え南知多町は、町民の声に寄り添う町独自の対策を他市町と比べてもしっかりと進めてくれています。これからまだ、第二波にも備えなければなりません。今後も町民に寄り添う町政を求めていきます。

たもつ日記

